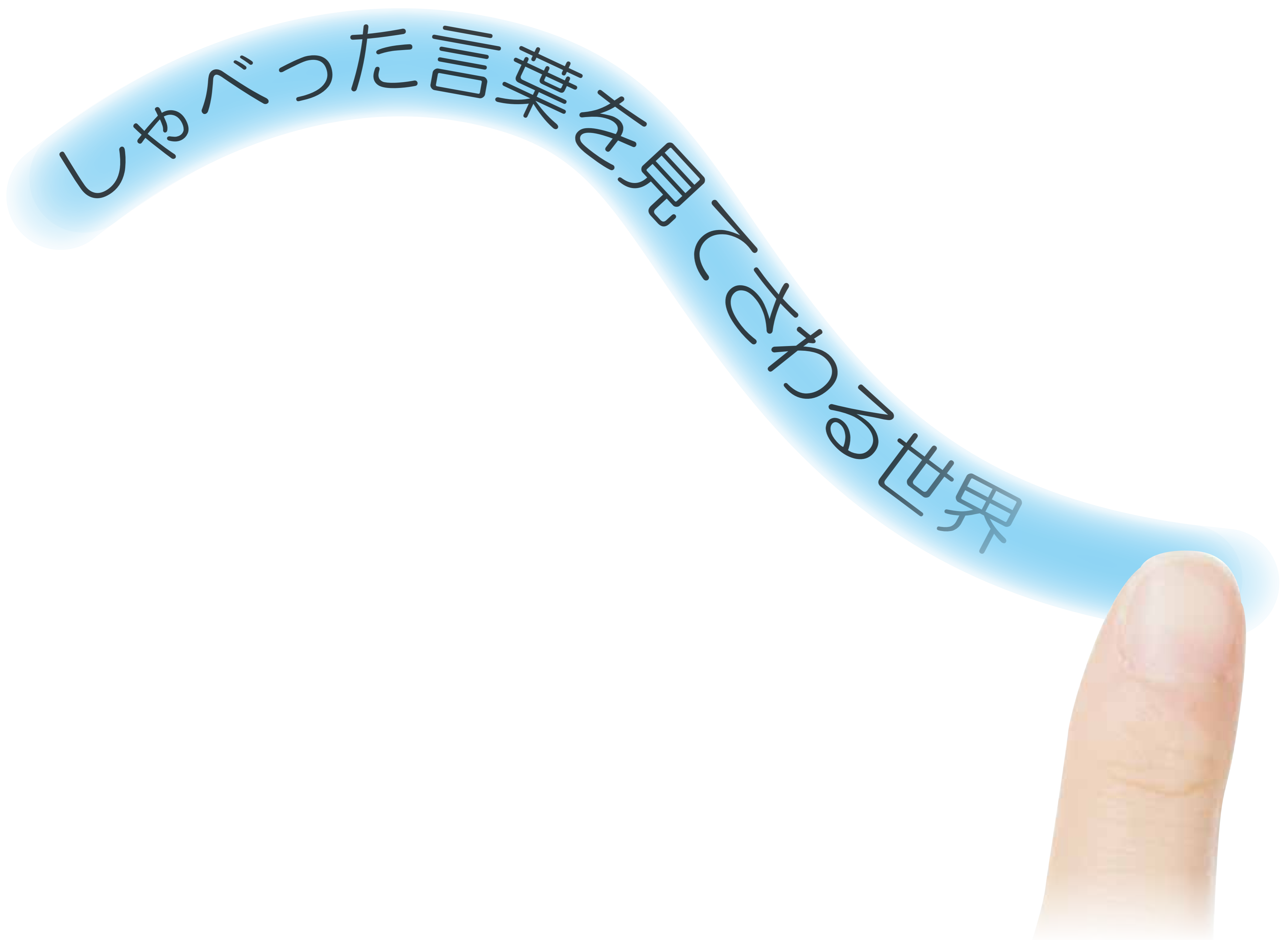


話した言葉を指でなぞった軌跡に表示する 「しゃべり描き UI」 ツール



- 好きなところに、好きな形で
- みんなが使える、誰とでも会話できる
- どこでも使える

活動理念と目的

コミュニケーションの壁を乗り越える

スタートは、聴覚障がい者との円滑なコミュニケーションの実現でした。

聴覚障がい者の方は、普段、話し手の口元を見ているため、資料などを指さしながら話し手が話しても指先を見ることができず、逆に指先を見てしまうと口元が見えないため、何を話しているか理解しづらくなります。

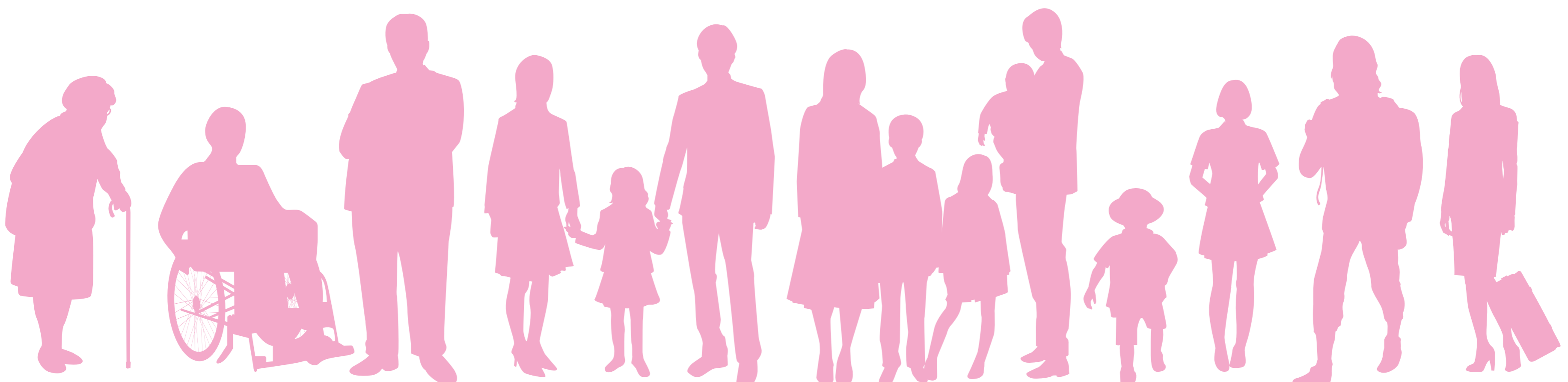


そこで指先に話した言葉を表示する「しゃべり描き UI」ツールの開発を行いました。

耳が不自由な方以外にも、目が不自由な方、言語が異なる方などコミュニケーションには、様々な「壁」があります。私たちは、その「壁」をユーザインタフェースの力で乗り越え、すべての人が円滑で多様なコミュニケーションを実現することを目的に、誰でも簡単に使えて、様々なコミュニケーションの壁を乗り越えられるツールを作り上げました。

このツールによって、

すべての人が互いの壁を意識することなく、円滑なコミュニケーションが取れる世界の実現に貢献していきます。



好きなところに、好きな形で

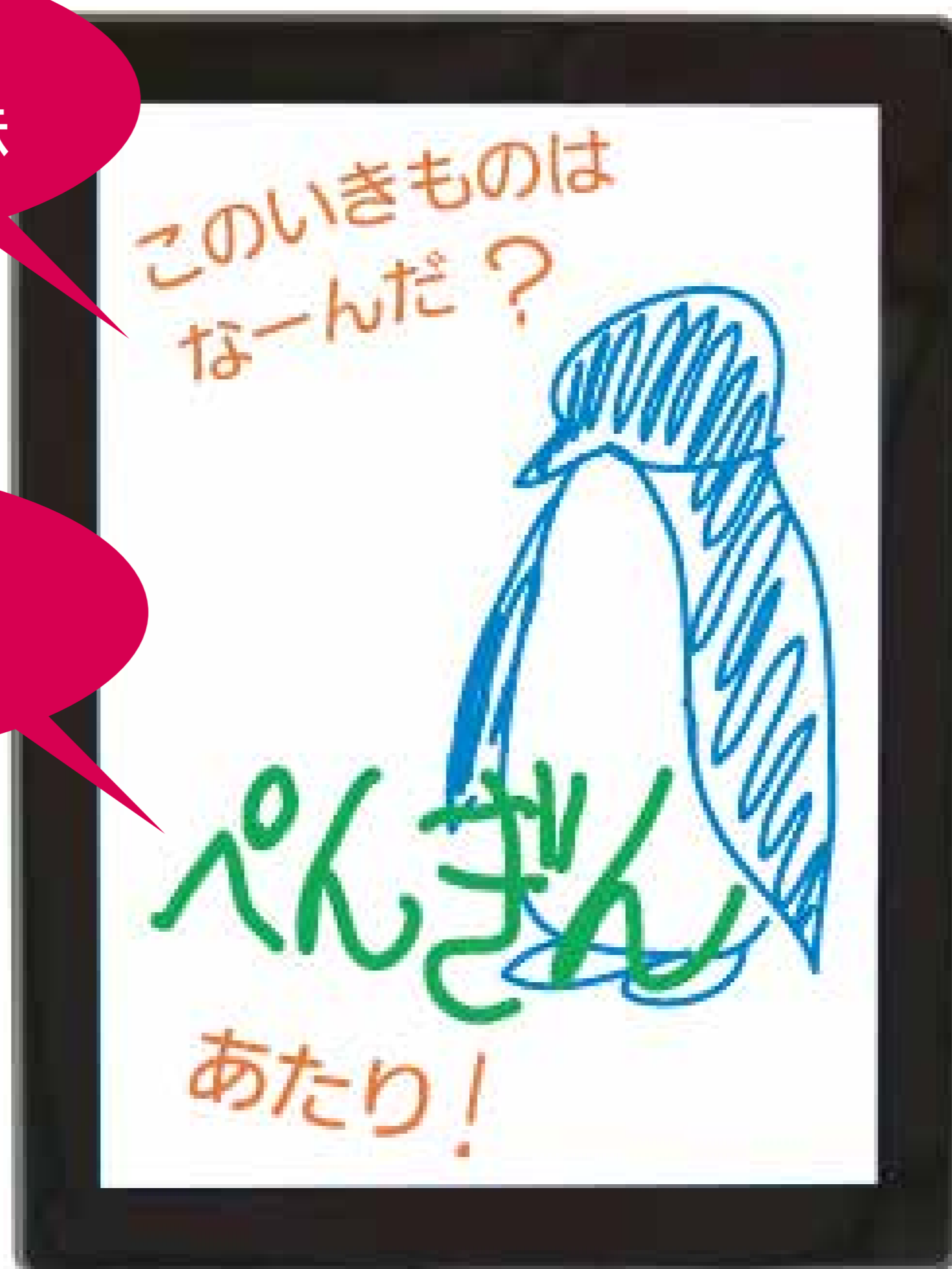
話した言葉を絵を描くように表示可能

しゃべり描きUI

画面の好きな場所を指でなぞると、話した言葉がなぞった軌跡に沿って、文字で表示されます。手描きイラストを自由に書き込めるため、文字だけに頼らないスムーズなコミュニケーションができます。

好きな場所に
話した言葉を表示

ツールなどの
切替なしに
お絵描きも可能



聴覚障がいを持つお子様とお絵描きをしながら、楽しく会話ができます。



耳の不自由な高齢者により詳細な情報をわかりやすく説明できます。

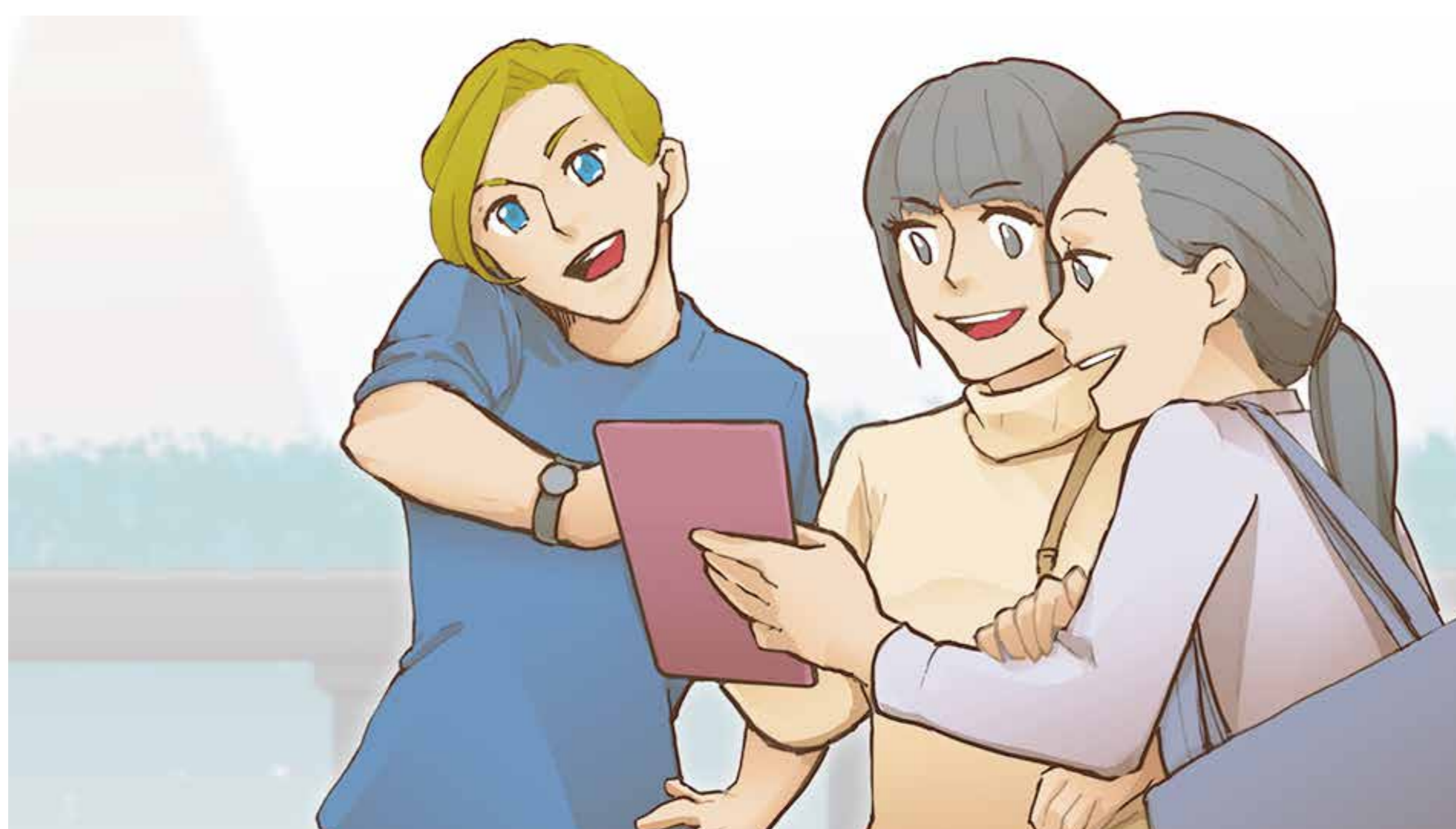


みんなが使える、誰とでも会話できる

多様なコミュニケーションを実現

多言語翻訳機能 音声読み上げ機能 手書き文字認識機能

障がい者や外国人だけでなく、子どもやお年寄りなどすべての人が同じ環境でコミュニケーションをとることができます。また、多言語翻訳だけでなく、音声読み上げ、手書き文字認識にも対応するので、目の見えない方や声の出せない方にも活用いただけます。



お土産の絵や地図を描きながら、母国語で楽しく会話。



イベント会場などで、聴覚障がいのスタッフが外国人を座席までご案内。

どこでも使える

背景を変えて、いろいろなシーンで活用

背景画像配置機能

あらかじめ登録した画像やタブレットで撮影した画像など、様々な画像を背景に配置できます。



行きたいところの写真や路線図などの上に描きながら案内できます。

対面で母国語で話せる

対面2画面表示機能

上下2分割された画面により、カウンター越しなどで案内する場合に、楽な姿勢で会話できます。

また、対面2画面表示機能のまま、多言語翻訳機能を使うこともできます。

自分のエリアが母国語専用のエリアになり、相手を意識することなく会話することができます。



話者カラー選択機能

自分の色を設定することで
どちらが話した言葉なのか
を可視化することもできます。

カウンター越しに、書類の記入方法を伝えたり質問を受けたりすることができます。